第４学年１組　国語科学習指導案

平成２９年　６月２９日（木）２校時
指導者　講師　村上　竜也
場所　４年教室

1　本研究授業の提案
単元構成図を振り返り，ヤドカリとイソギンチャクの関係について友達と意見を交流し，自らの考えを広げたり深めたりする授業。

2　本研究の授業技術課題
（1）児童が見通しをもって学習に取り組むことができるような課題提示の工夫と指示を明確にする。

3　単元名　「ヤドカリとイソギンチャク」

4　単元の目標
段落どうしの結び付きを考えて読み，文章のまとまりをとらえることができる。

5　指導計画（本時　9/9時間）

次	時	主な学習活動	単元の評価規準
一	①	○学習の見通しを立てる ・教材文を通読し，初発の感想を書く。 ・文章のまとまりをとらえるために関係図や表を作ることを知る。	【関心・意欲・態度】 ヤドカリとイソギンチャクの関係に興味を持ち，その関係を明らかにするために，意欲を持って教材文を読もうとしている。
二	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	○教材文を読み，関係図や表を作る ・初発の感想を出し合い，段落分けを行う。 ・教材文を「始め」「中」「終わり」に分ける。 ・「中」に書かれている内容を，段落同士の結び付きを考えながら，三つのまとまりに分ける。 ・まとまりごとに問いと答えを読み取りながら，まとまりの見出しを考える。 ・ヤドカリとイソギンチャクの関係について考える。	【読むウ】 教材文全体を，話のまとまりに着目して三つに分けている。 【読むウ】 「問い」と「答え」の関係を理解し，それぞれの話題をとらえて見出しを付けている。 【読むエ】 文章のまとまりを考え，ヤドカリとイソギンチャクの関係をとらえている。
三	⑨	○感想を交流する。 ・教材文を読んで，筆者の説明のまとまりについて，分かったことや考えたことを書き，友達と交流する。（本時）	【書くウ】 ヤドカリとイソギンチャクの関係について，教材文から読み取ったことを整理し，まとめている。

6　本時の展開
（1）ねらい
文章のまとまりを意識し，友達から受けたコメントを基にして自分の考えをさらに深めたり広げたりすることができる。

（2）指導過程

学習活動	指導事項・留意点・評価
1　前時の学習内容を振り返る。	・前時までの振り返りができるように，学習でまとめた表を教室に掲示しておく。
2　本時の学習課題を知る。 **文章のまとまりを意しきして，感想や考えたことを伝え合おう。**	・文章のまとまりを意識して音読させる。
3　課題について自分の考えを書く。 ・　なぜ，ヤドカリはイソギンチャクが攻撃しないということがわかるのか。 ・　イソギンチャクを付ける以外にヤドカリが敵から身を守る方法はないのか。 ・　イソギンチャクはヤドカリに付かないと生きていけないのか。	・「なるほど」「不思議」「もっと知りたい」など，自分が考えたことをワークシートに書かせる。 ・書き出せない児童には，これまでまとめてきた表を参考にするように支援する。
4　お互いに考えを読み合い，感想を書く。 ①　自分の書いたワークシートを机に置き，付せんを持って移動する。 ②　友達の席に座り，付せんにコメントを書いて貼り，次の席へ移動する。 ③　時間になったら自分の席へ戻り，もらったコメントを読む。	・付せんを用意し，「なるほど」と思ったことや友達の考えを読んで，さらに疑問に思ったことを書かせる。 ・付せんには名前を書かせる。 ・友達を選ばないように空いている席に座らせる。 ・①～②を繰り返して行う。
5　友達からのコメントを読み，改めて考えたこと，気づいたことをワークシートに書く。 ・児童の感想紹介	〈評価〉 ヤドカリとイソギンチャクの関係について，教材文から読み取ったことを整理し，まとめている。

（3）板書計画

ヤドカリとイソギンチャク

武田　正倫

文章のまとまりを意しきして，感想や考えたことを伝え合おう。

①自分の考えを書く

②自分の書いたワークシートを机に置き，付せんを持って移動する。

③友達の席にすわり，付せんにコメントを書いてはり，次の席へ移動する。

④時間になったら自分の席へもどり，もらったコメントを読む。

〈ポイント〉

・もっと知りたいこと。ふしぎに思ったこと。分からなかったことを書く。

(感想紹介)

最初の感想

←

友達のコメントをもらった後の感想

（4）本時の評価

具体の評価規準	文章のまとまりを意識して，自分の考えを書くことができたか。（観察・ワークシート）（観察・ワークシート）
Aと判断する姿	文章のまとまりを意識し，友達から受けたコメントを基にして自分の考えをさらに深めたり広げたりすることができたか。（観察・ワークシート）
Cへの手だて	掲示物や友達の考えを参考にし，自分の考えを持つことができるようにする。